

# The Philippines

常磐大学 フィリピン研修  
2024/2/18~3/2

# Table of Contents

English Class .....	1
Student Buddies .....	2-3
Japanese Culture Workshop .....	4
Sports Activity Workshop .....	5
Fair Trade Project .....	6
Plum Tree Dyeing & Kumihimo Project .....	7
Picture Book Project .....	8
Interaction with OISCA Members .....	9
Welcome Ceremony: "Idol" Dance .....	10
Closing Ceremony & Final Presentation .....	11
Our Holidays .....	12
Final Comments .....	13-18

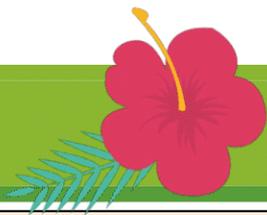
## Schedule

### <WEEK 1>

### <WEEK 2>

Day	Date	Programs / Activities
1	2/18 (日)	(午前) 成田発 ----- (夕方) バコロド着, バゴ市へ移動
2	2/19 (月)	(午前) バゴ市生誕記念パレードに参加, オイスカでオリエンテーション ----- (午後) ババイラン祭りの見学
3	2/20 (火)	(午前) 英語授業 1 ----- (午後) 英語授業 2 ----- (夕方) 自由行動
4	2/21 (水)	(午前) ウェルカムセレモニー/バゴシティ大 学, バゴ市長を表敬訪問 ----- (午後) バゴ市見学 ----- (夕方) OISCA バゴ研修センター研修生との 交流会
5	2/22 (木)	(午前) 英語授業 3 ----- (午後) アクティビティ (梅染め・組紐プロ ジェクト) ----- (夕方) 自由行動
6	2/23 (金)	(午前) 英語授業 4 ----- (午後) バゴ市からマンブカルリゾートへ ----- (夕方) グレイスランドリゾート泊
7	2/24 (土)	(午前) バゴ市へ移動 ----- (午後) バゴ市内自由時間 ----- (夕方) 自由行動

Day	Date	Programs / Activities
8	2/25 (日)	(午前) バコロド市見学 ----- (午後/夕方) バゴ市内自由時間
9	2/26 (月)	(午前) 英語授業 5 ----- (午後) アクティビティ(スポーツ交流プロ ジェクト、日本文化交流プロジェクト) ----- (夕方) 自由行動
10	2/27 (火)	(午前) 英語授業 6 ----- (午後) アクティビティ(日本文化交流プロ ジェクト、絵本プロジェクト) ----- (夕方) 自由行動
11	2/28 (水)	(午前) 英語授業 7 ----- (午後) アクティビティ(フェアトレードプ ロジェクト) ----- (夕方) 自由行動
12	2/29 (木)	(午前) 英語授業 8 ----- (午後) ファイナルプレゼン / 修了式 / 送別 会 (バゴシティ大学) ----- (夕方) 送別会 (オイスカバゴ研修センター)
13	3/1 (金)	(午前) バコロド観光 ----- (午後) 買い物 ----- (夕方) エル・フィッシャーホテルへ
14	3/2 (土)	(午前) バコロド発成田へ ----- (夕方) 成田着



# English Class

授業終わりや合間の時間に、学内のカフェテリアに行ってスナックを買ったり、動画や写真をたくさん撮ったりしました。いつも笑顔でコミュニケーション能力が高く、拙い英語でも理解しようとしてくれるパディたちのおかげで、自然と笑顔になり、みんなすぐに仲良くなりました。パディたちとは、英語の授業だけでなく一緒に地元のお祭りやリゾート地に行き、たくさんの時間を一緒に過ごしました。

授業終わりにみんなで写真を撮りました

English class では、バゴシティ大学の学生が私たちとパディとなって、7 日間にわたり、英語の授業や交流等を行いました。テキストを利用し、グループや 1 対 1 でスピーキングを中心としたアクティビティを行いました。優しく、明るいパディたちや先生方のおかげで英語を話すことが楽しく感じられ、仲を深められるような活動となりました。



## Our English Teacher

計 7 回の英語の授業を、素晴らしい 3 人の先生方が教えてくださいました。授業のトピックに入る前に、導入としてパディと一緒に昨日の出来事を話す時間やどんな内容なのか想像する時間をとってくださり、英語の初心者でも理解しやすい授業でした。また、ジェスチャーを交えながらゆっくりと英語を発音して下さったおかげで、だんだんと英語が文章として聞き取れるようになりました。授業の最後には、みんなでハンドクラップや足踏みを取り入れた手締めをしました。



(写真左から)Charry 先生、Nona 先生、Liezl 先生

## English Class Activities

初日は自己紹介をしました



みんなで授業を受ける様子



プログラムの後半では、その日に学習した英会話を利用したグループでの活動を中心に行いました。パディに発音や発表の際のジェスチャーのアドバイスをもらいながら、楽しく英語の知識を身に付け、発表を行いました。そのおかげで前に出て発表することが緊張しなくなり、楽しく感じられ、英語の発音のスキルも向上しました。



# Student Buddies



**Denielle & Daiwa**

Denielle はとても親切で明るくて食べるのが大好きな女性です。彼女は私と話すと、私が理解できるまでゆっくりと、時には私のために覚えてくれた日本語で話してくれます。人見知りや緊張しやすい私に笑顔で「緊張しないで！」といつも励ましてくれました。また私たちは食べるのが好きなので、授業後の自由時間に Denielle と私がいっしょに一番乗りでお菓子を買に行きました。特に彼女がくれた Crinkle というクッキーがおいしくて、毎日食べたのが思い出です。彼女のおかげで英語の授業がとても楽しかったです。



**Brent & Rimi**

Brent は、研修メンバーで一番シャイな私にたくさん話しかけてくれて、相手の気持ちに寄り添えるような人です。現在の彼の夢は先生になることで、たくさんのクラスメイトと仲良しなので彼には先生という仕事はぴったりだと思いました。授業の最終日には、サプライズで手紙をプレゼントしてくれて、とてもうれしかったです。彼の影響で、もっと英語の勉強をしたくなった。彼の人と話したいと思うようになりました。趣味は正反対の私たちですが、Brent が私のパディで本当によかったです！



**Alcreza & Karin**

Alcreza はとても真面目で面倒見が良い人でした。彼女はバゴシティ大学の学生代表を務めていたので、いつも忙しい生活を送っていましたが、前日にメッセージをくれました。一緒にいる時は、美味しかったフィリピン料理やどこに行ったらいいかなどのお話をたくさんしました。また、英語の授業では、前に出て発表をするように背中を押してくれたり、苦手な発音の練習にたくさん付き合ってくれました。彼女が日本に来ることがあったら、日本を案内したいと思います。



**Desiree & Haruka**

Desiree はフレンドリーで元気いっぱい、優しく賢い素敵な人です。彼女の夢は英語の先生になることなので、教え方が上手です。私が聞き取れない時にはやさしい英語で話してくれ、苦手な単語の発音練習を何度も一緒にしてくれました。そのおかげで、英語の発音が上達し、発音がうまくなった時に「I'm proud of you.」と言って褒めてくれました。英語の授業の合間に日本の歌を歌ったり、お菓子を交換して一緒に食べたり、たった 2 週間で私のかけがえのない友人になりました。日本に遊びに来た時には東京や茨城を案内したいと思います。



**Gerson & Souta**

Gerson はいつも元気で明るく、私が上手く英語を話せない場面でも、根気強く話を聞いてくれたり、「It's ok!」や「Don't be shy」などの声掛けをしてくれて、リラックスして話すことができました。また、彼は日本に興味があり、特に桜が好きでよく桜の話をしました。プレゼンテーション作成の時には、授業が終わってからも、インスタグラムで「プレゼンテーションについて聞きたいことがあったらなんでも聞いてね」とメッセージをくれたりして、とても親切にしてくれました。もし彼が日本に来たら一緒に桜を見に行きたいです。



**Break time**



# Student Buddies



**Jolie & Konomi**

Jolie は元気で前向きな性格です。授業で発表するときに私が緊張していると、いつも優しく、前向きな言葉をかけてくれました。彼女のおかげで、自信を持って発表できるようになりました。また、Jolie も私も食べることが好きなので、授業後にはお互いの国の食べ物を教え合ったり、一緒にお菓子を食べながら会話をしたり、とても楽しい時間を過ごしました。Jolie は、いつか日本に行きたいと言っていたので、再会したときにもっと話せるように、英語の勉強を頑張ろうと思います。



**Paula & Kenshin**

私のバディ、Paula は韓国ドラマが好きで私に英語だけでなく韓国語も教えてくれました。とても知的でいつも笑顔でどんな時でもそばにいてくれる優しい人です。また、英語が話せなくて困っている時も、大丈夫だよ！頑張れ！と声をかけてくれて私に自信をつけさせてくれました。Paula と話している間違えることを恐れないでなんでも挑戦して話そうとすることができます。それも、Paula がいつもそばにいてくれたからだと思います。本当に Paula が私のバディでよかったです。また、再会できることを楽しみにしています。



**B-Jay & Konatsu**

私のバディの B-Jay は、人見知りの私にたくさん質問をしてくれたり、私以外にも気さくに話しかけるなどフレンドリーで明るく、優しい人です。彼は猫が好きで、よく実家の猫の写真を見せながら、多くのことを教えてくれました。授業では英語が苦手な私の発表練習に何回も付き合ってもらい、わからない単語も例文を出しながらゆっくり教えてくれました。また彼は日本語も勉強していて、「がんばって！」と毎回発表する前によく応援してくれるので、笑顔で発表することができました。私には勿体無いくらい素敵なバディです。



**Mel & Hiroto**

Mel は、暑い時には日傘を差してくれ、絶対に道を譲ってくれるとてもジェントルマンでハンサムな人です。Mel は私が上手く英語を話せない時にも気長に待っていてくれて耳を傾けてくれるため、彼との英会話はとても楽しかったです。また、彼は歌やダンスが好きでテンションが上がると歌って踊り出すとても陽気な人でした。また、Mel は司会も務めていたり、先生の手助けをしていたり、とても優秀で素晴らしい人でした。お別れの時には、何度も抱き合い別れを惜しみました。フィリピンに来て Mel に出会えて本当に良かったと思っています。



**Joefrey & Yuki**

Joefrey は、笑顔が素敵で野菜が苦手という可愛い一面のある人です。英語が苦手な私に、何度もゆっくりと発音してくれました。授業中、発表するシーンがたくさんあり、発表を終え席に戻ると彼は必ず「Very good！」と笑顔で声を掛けてくれました。彼が居たからこそ、苦手な英語の授業もとても楽しく受けることができたのだと思います！彼と再会する時には、彼の好きなチーズお菓子をたくさんプレゼントしたいと思います。また、スムーズに英語で会話できるように英語の勉強を頑張りたいと思います！



**Till we meet again!**





# Japanese Culture Workshop

日本文化プロジェクトでは、二日間かけて日本の「折る」と「包む」の文化を、折り紙を通してフィリピンの人たちに体験してもらいました。感謝の気持ちを伝えるメッセージカードを書いて、折り紙で作った兜で包むありがとうカードの作成と、折り紙を身近な存在として生活に取り入れてもらうために、ペンスタンドを作りました。



「ありがとう」カード



ペンスタンド

## Bago City College



協力しながら完成させることができました

まず、26日にバゴシティ大学のみならずワークショップを行いました。当初想定していた人数より参加人数が十数名増えたため、プロジェクトの進行がばたつく場面もありましたが、みんな楽しそうにワークショップを体験している様子を見ることができて、たくさん準備した甲斐があったと安心しました。メッセージの「ありがとう」以外にも、それぞれ思い思いのメッセージを書いている人もいて、個性溢れるカードを見ることができました。

## OISCA Bago Training Center

27日には、OISCA バゴ・トレーニングセンターの人たちと折り紙を体験しました。一緒にワークショップを行った人たちは、日本語を勉強している人だったため、簡単な日本語も交えながら楽しく体験することができました。この2日間を通して、カードとペンスタンドを早めに作り終わった人は、カードを複数書いたり、折り紙で別のものを作ったりしていたので、フィリピンの人たちの器用さにもとても驚きました。



作り方を教えている様子



# Sports Activity Workshop

スポーツ交流では体育館のステージを借りてドッチビーを行いました。ドッチビーは、ドッジボールのボールの代わりに柔らかいフリスビーを使った日本発祥のニュースポーツです。常磐大学の学生とバゴシティ大学のバディに加えて、バディ以外にも Charry 先生のクラスの学生も参加してくれました。

## Rule Explanation



ゲームを始める前に、バディに協力してもらいながら、チーム分けとルール説明を行いました。チームは常磐大学生、バディ、バディ以外の学生の数が均等になるように3チーム構成し、ルールはドッジボールを基に説明しました。

## Dodgebee Game

ゲームが始まると、フィリピンと日本ではドッジボールのルールが違うことがわかり、私たちはバディやその他の学生とコミュニケーションを取り、ルールを確認しながらゲームを行いました。ルールを理解した後は、変則的に飛ぶフリスビーに苦戦しながらも、すぐにコツをつかんで避けて、キャッチして、投げて、白熱した試合になり夢中になって楽しむことができました。



## Giving Gifts

最後に参加賞として私たちがバディへカップラーメンを、バディ以外の学生に日本のお菓子の詰め合わせをプレゼントし、バゴシティ大学にはフリスビーを2つ寄付し、みんなが喜んでいる姿を見ることができました。このスポーツ交流を通して仲を深めること、交流を広げること、日本の文化を共有することが達成できたのでとても充実した時間になりました。



参加賞を持って記念写真



お菓子の詰め合わせ



# Fair Trade Project

OISCA バゴトレーニングセンターでは蚕の飼育や絹糸の製糸、絹製品の制作などを行っています。今回はフェアトレード商品制作の過程を見学させていただきました。また、制作している様子を動画に収め、渡辺所長や職人の方たちにインタビューさせていただきました。

## 絹糸の製糸の過程



OISCA バゴトレーニングセンターでは絹糸の製糸の様子を見学させていただきました。熱湯を用いて製糸を行っているため工場の中はとても暑くなっていました。職人さんたちはこのような環境下で働き続けているにも関わらず笑顔で接して下さり、絹糸づくりの大変さを身に染みて実感することができたとともに職人さんたちの優しい人柄を感じることができました。



OISCA の職人さんたち

## 絹製品への加工過程

工場で作られた糸は現地の植物や薬品によって染め上げられます。その糸を OISCA の職人さん達が機織り機を使って絹の布にしています。機織り機を使った作業は丁寧かつ素早いものであり、OISCA の職人さんたちの技術は素晴らしいものでした。そして出来上がったものをショールやスカーフ、スリッパなどに加工し絹製品が出来上がります。また、繭を加工し花のコサージュや猫の置物といったコークンクラフトも作成しています。



シルクショール



コークンクラフト



## 渡辺所長へのインタビュー

OISCA の所長である渡辺さんや OISCA の職人の皆さんにインタビューを行いました。渡辺さんや職人の方から直接ネグロス産の絹、絹製品の特徴や魅力、抱えている課題について聞くことができ、OISCA で作られる絹製品について改めて深く理解することができました。また、日本の消費者に向けてのメッセージを動画上で語っていただきました。

# Plum Tree Dyeing & Kumihimo Project

フェアトレードプロジェクト「組紐」では、水戸市の梅で染めた絹糸とフィリピンで染めた絹糸を用いて組紐を製作すること、日本の伝統文化である「組紐」をフィリピンの方たちに伝えることを目指しています。今回は OISCA の職人さんに「組紐ブレスレット」の製作過程をレクチャーして来ました。

## OISCA でのプレゼンテーション

OISCA バゴ・トレーニングセンターの職人さんたちに、日本での活動や日本で実施した組紐商品に関するアンケート結果について発表しました。皆さんプレゼンテーションを真剣に聞いてくださいました。日本のイベントで販売した組紐商品が人気で完売したことを職人さんたちに伝えられることができ嬉しかったです！今年度もたくさんの人に組紐商品を手にとって貰えるように、頑張ろうと感じました！

## 組紐ブレスレットの製作

OISCA バゴ・トレーニングセンターの職人さんたちに組紐ブレスレットの作り方をレクチャーしてきました。ブレスレットの組み方からブレスレットの金具付けまでの工程を行いました。組み方や金具付けを英語で説明することに苦戦しましたが、職人さんたちが真剣な眼差しで参加してくれました。素敵な組紐ブレスレットを作製することができました。真剣ながらも楽しみながら「組紐ブレスレット」を作りました！



プレゼンテーションの様子



ブレスレットの金具付けに挑戦中！



八つ金剛組に苦戦中

## 購入した自然染めの絹糸

昨年度は、桑の葉で染めた黄色の絹糸とパイアで染めた緑の絹糸を購入しました。今年度はこの2色に加え、タリサイの葉で染めた金色の絹糸とマホガニーの木で染めたブラウン色の絹糸を購入してきました。他にもたくさんの自然染めがあり、どの色も優しい色合いで素敵なものばかりで4色に絞るのがとても大変でした。新たな色の絹糸が加わり、新たな組紐の商品や組紐商品を製作することが楽しみです！



今回購入した絹糸



完成した組紐ブレスレット



# Picture Book Project

絵本プロジェクトでは、バゴ市で日本語を学んでいる農業青年に、読まなくなった絵本を教材として届ける活動を行いました。常磐大学の学生や教職員、常磐大学高等学校、水戸市の西部図書館など多くの方々に協力していただき、166冊の絵本を提供することができました。

## Presentation



絵本プロジェクトの活動について紹介しました

## Reading Picture Books



ペアになって絵本を読みました



OISCA バゴ・トレーニングセンターでは、プレゼンテーションで活動について紹介したあと、ワークショップを行いました。まず、農業青年たちに読みたい絵本を選んでもらい、常磐大学の学生とペアになり一緒に絵本を読みました。ワークショップで使用した絵本は、日本の四季や文化について描かれているものを中心に選定しました。日本語の絵本を読むのは初めての方がほとんどでしたが、みなさん真剣に、楽しそうに読んでいた姿が印象的でした。

## Making message cards



丁寧にメッセージカードを書いてくれました

私たちは単に絵本を届けるだけでなく、絵本を寄付してくれた方に、絵本の思い出やエピソード、日本語を学んでいる農業青年へのメッセージを書いていただきました。今回のワークショップでは、農業青年たちにも絵本の感想や提供してくれた方へのメッセージを書いていただきました。メッセージカードには、絵本を寄付してくれたことへの感謝の気持ちがたくさん書かれていて嬉しかったです。





# Interaction with OISCA Members

2週間お世話になった OISCA では、様々な人との出会いや楽しい出来事が多く、素敵な時間を過ごすことができました。また、OISCA の方たちは、とても優しくフレンドリーです。OISCA に着いたばかりの時は、私達は仲良くなれるかとても不安でしたがすぐに仲良くなることができました。そんな私たちと OISCA の方たちとの楽しかった生活の一部をご紹介します。

## Best Meal Time



Opeさんからマンゴーを貰いました。

毎食 OISCA の方が作って下さいました。OISCA の料理は日本料理とフィリピン料理がメインでとても美味しかったです。英語の授業やプロジェクトで毎日大変でしたが OISCA のご飯のおかげでいつも元気に研修生活を送ることができました。



食堂まで歩いて向かいます。

## Memories at OISCA



一緒にバスケットをしました。



夜ご飯までの空いている時間に、OISCA の生徒たちとバスケットをしたり、OISCA の近くにあるお店でコーラを飲みながら楽しくお話をしたりしました。OISCA の生徒達は、とても優しくバスケットがとてもうまい子が多いです。英語がうまく話せなくても楽しくバスケットをすることができました。その時に私たちは、仲良くなるのに言語の壁など関係ないことが分かりました。また、コーラを飲みながらフィリピンのことやイロゴ語について教えてくれました。フィリピン研修が楽しく終わったのも OISCA の方たちに助けてもらったからだと思います。本当にありがとうございました。



# Welcome Ceremony: "Idol" Dance

バゴシティ大学の学生が私たちのためにウェルカムパーティを開いてくれました。歌やフィリピンの伝統芸能などの出し物で歓迎をしてくれました。私たちは多くの学生に見守られながら、自己紹介と YOASOBI の「アイドル」の曲に合わせてダンスの発表をさせていただきました。最初から最後まで楽しいウェルカムパーティでした。

## Songs & Filipino Martial Arts



出し物の様子



バゴシティ大学に着くと、これまでにない人たちに見守られながら盛大なお出迎えをしてくださいました。また車を降りた際に手作りのプレゼントをもらいました。私たちはこんなに歓迎されると思っていなかったのでとても嬉しかったです。その後席に案内され、フィリピンの武芸や歌、合奏で私たちをバゴシティ大学へ歓迎してくれました。特にフィリピンの伝統芸能は初めて見たので迫力があり、とても驚きました。

## Self-introduction & Dance



自己紹介とダンスの様子



この写真は自己紹介とダンスをしている様子です。こんなに多くの人々が来るとは知らなかったのが萎縮してしまい緊張していましたが、自己紹介では全員が笑顔で堂々発表することができました。パティや周りの学生が盛り上げてくれたおかげでよいパフォーマンスすることができ、最後は心から楽しんで踊ることができました。



# Closing Ceremony & Final Presentation

Closing Ceremony は、バゴシティ大学の体育館で大勢の学生たちの前で行われました。Singson 学長から修了書を手渡していただいたり、フィリピン研修全体をふりかえるプレゼンテーションも行いました。式の終了後も、パティたちと感謝の気持ちを伝えあったり一緒に写真を撮ったりして、最後の別れを惜しまました。

## Closing Ceremony



修了証を受け取りました

みんなで記念写真

## Final Presentation



感謝を込めてプレゼンテーション

たくさんのバゴシティ大学生たちの前で、私たちは、フィリピンでの2週間を振り返る「英語プレゼンテーション」を行いました。いつも私たちのそばでサポートしてくれたパティたちの声援を受けて、大勢の聴衆の前でも私たち自身が驚くほど、胸を張って笑顔でプレゼンテーションを終えることができました。発表をしながら、「なんて中身の濃い2週間だったんだろう」と改めて感じることができました。研修の最後に、お世話になったみなさんに心からの感謝を伝えることができ、とても幸せな時間でした。バゴ市で過ごした2週間を私たちは生涯忘れることはないでしょう。本当にありがとうございました!!

## お別れの時：笑顔と涙と・・・



またいつか会おうね、約束だよ





# Our Holidays

週末にはシビックパレード、ババイランフェスティバル、グレイスランドリゾートに行きました。フィリピンの方と交流することができました。どれも日本では経験できない貴重な体験ができました。

## Graceland Resort



貸し切りプールで楽しみました！

グレイスランドリゾートでは、とても自然豊かで楽しい休日を過ごすことができました。夜に時間があったので外に出ておしゃべりをしたり、夜景を見たり、のんびりと過ごしました。朝は、朝焼けが綺麗と先生が教えてくれたので少し早く起きて景色を見に行きました。

## Babaylan Festival



ダンスの様子



ステージの近くで鑑賞

会場はたくさんの観客の歓声に包まれとても盛り上がっていました。ダンスの鑑賞後には、自由行動がありました。近くの Bantayan Park へ行ったり、屋台でハロハロを買って飲んだり、バディとの交流を楽しみました。この日はバディとの初対面だったのですが、すぐに打ち解けることができました。

## Civic Parade



Civic Parade では市長さんに招待され、パレードを歩かせてもらいました。慣れない暑さに苦労したのですが、たくさんの方に声をかけていただき、写真を撮ったり、お話をしたり楽しい時間を過ごすことができました。

ルーインズ



リゾート



ルーインズ



近くの海にも行きました





# Final Comments



## 横山 太環

人間科学部 教育学科 2年

私はフィリピン研修に参加できて良かったと心の底から思います。この研修に参加しなければこのような人の温かさを感じることも、初めての経験をすることもできなかったらと感じました。

私がフィリピン研修に申し込んだ理由は人見知りで消極的な性格を変えて「立派な教師になるために自分を変えたい」と考えるようになったのがきっかけでした。その時、1年次の英語の授業で小関先生が「フィリピン研修に行くと人生が変わるよ」とお話されていたことを思い出して、申し込みを決意しました。

実際に研修に参加して、バディと英語で話したり、みんなでワークショップをしたり、トライシクルに乗ったり、プールに入ったり、日本にないものを食べたり、100人以上の前で英語で発表をしたり、途上国らしさのある海を見られたりと、これまでの自分では信じられないような経験をさせてもらいました。

そしてこの研修の一番の収穫は仲良くなれた学生や、先生、OISCAの皆さん、何よりも、バディのみんなに会えたことだと思います。バディのみんなは自分の夢のために日中は勉強、夜はアルバイトをしてハードなスケジュールにも関わらず、私たちを全力でもてなしてくれました。そのストイックさと温かい人間性に感動しました。

この出会いと貴重な経験に感謝して、いつかまた成長した姿でみんなに会えるようにこれからも頑張ります。



## 大金 李実

人間科学部 コミュニケーション学科 2年

私がフィリピン研修に参加したきっかけは、大学1年生の時に履修した上級英語という授業で、小関先生から研修について話を聞いたことでした。人生で一度は海外に行ってみたいと思っていて、大学の人とグループになって行くことができれば安心なので一度体験してみようという軽い気持ちで、参加することを決めました。

その一方で、特に仲の良い大学の友達が忙しさから参加できなかったのと、日本語が伝わらないという環境に対しての不安ももちろんあり、持ち前の緊張しやすさからうまくコミュニケーションも取れないのではないかと心配もありました。しかし、現地で授業やワークショップを通じて交流する中で、フィリピンの人たちの温かさや寛容さに触れて、人前で話すことへの抵抗感が少なくなりました。

フィリピンに着いたばかりの時は不安もあり、2週間という期間がとても長く感じましたが、日本に帰ってしばらく経った今、振り返るとあっという間で、もう少し長い間と思えるくらい充実した研修を送ることができました。英語が流暢に話すことができない私でも、たくさんの人のおかげでかけがえのない2週間を過ごすことができました。この研修で、もっといろんな国に行ってみたいと思えるようになりました。自分が変わるきっかけを作ってくれたこの研修に、感謝しても仕切れません。ありがとうございました！



## 栗丸 花梨

総合政策学部 経営学科 3年

私は、英語の勉強をしたいと思いこの研修に参加しました。この研修では、私が想像していたよりもずっと英語と触れ合い、英語を学ぶ機会が多い研修でした。英語の授業もバディとの会話も全て英語でした。最初は聞き取ることも話すこともできませんでした。ですが、バディが私が話そうとしていることを察して、拙い英語でも私が伝えたいことを伝えられるように待ってくれました。また、たくさん私に話しかけてくれたことで人見知りの私でもフィリピンで初めて会ったとは思えないくらい楽しく会話をすることができました。

この研修をきっかけにもっと英語の勉強をしたいと強く思いました。今まで英語の勉強をしようと思っていてもすぐに「第一言語英語じゃないし」と言い訳をして中途半端に勉強を辞めていました。ですが、フィリピンでは自分の母国語以外に英語や日本語、中国語など何ヶ国語も話せる人がいます。私は今までの環境に甘えていただけなのだ気づきました。フィリピンで言語の勉強方法を聞いたので、その方法で本気で英語の勉強をしようと決意しました。

この研修を通して言語の習得だけではなく、価値観も広げることができました。文化の違いもそうですが、フィリピンの人は明るくてとても楽しそうに生活しています。2週間一緒に居て私もつられて明るく前向きな気持ちになることができました。日本では体験できない様々な経験をする事ができ、とても充実した2週間でした。また、機会があったらフィリピンに行きたいと思います。



## 中井 遥

総合政策学部 経営学科 3年

私は、1年次に小関先生の英語の授業を受けた際に研修の話聞いて参加したいと思ったのと、絵本プロジェクトに参加しており、これまでに回収した絵本を現地に届けに行きたいと思っていたため、参加を決めました。研修前は、楽しみの方が大きかったのですが、プロジェクトの事前準備がスムーズに進まないことや、人生で初めての海外であったため、私の拙い英語が本当に伝わるのだろうかと不安もありました。しかし、空港に着いて初めて海外の景色を見た時、その不安を忘れるくらい感動し、ワクワクし、同じ空の下なのに全く異なる環境で生活している人々がいることを実感し、不思議な気持ちにもなりました。

バゴで生活する中で、現地の人たちの温かさや活気あふれる街の雰囲気、大学のバディたちに背中を押され、次第に「必ずなんとかなるから大丈夫！」という気持ちに変わり、自信を持って英語の授業や現地での活動を楽しむことができました。

2週間でこんなにも充実して楽しくて、一生忘れられない経験が出来たのは、OISCAの方々やバゴシティ大学のバディたちのおかげです。今後辛い時、心が折れそうになった時、この思い出とバディの Desiree がかけてくれた言葉が心の支えとなり、もう少し頑張ってみようという気持ちになれる気がしています。

海外研修に参加したいけれど、どの国が良いか迷っている方、ぜひフィリピン研修に参加してみてください。きっと素晴らしい経験になるはずです！

# Final Comments



## 川又 颯太

総合政策学部 総合政策学科 3年

フィリピン研修での2週間は自分の人生の中でとてもいい経験となりました。フィリピン研修前は事前研修があり、スポーツ交流や文化交流などの打ち合わせを週1回行っていました。ほかの研修ではこのような「出し物」を行うことはしないと聞いていたので、最初は、本当に楽しんでくれるか不安でした。でも、実際にフィリピンに行ってみると、みんな楽しそうに取り組んでくれて準備は大変だったけど、「やって良かったな」と思えました。

英語の授業では、1人の学生につき1人のバディがついてくれて、自分の拙い英語を根気強く最後まで聞いてくれました。また、話していてわからない単語があったら別の英単語に置き換えてわかるように工夫してくれたりしてとても親切な人たちでした。

自分自身、初の海外でフィリピンという国にもあまり知識がなく治安のことや生活のことに関して不安なことだらけでしたが、バディたちやその他のフィリピンの人達もみんな私たち日本人に対してとても親切で、その不安が吹く飛ぶくらい現地の人たちが優しく温かかったです。特に、自分たちの研修のガイドをしてくれたJanさんにはとても親切にしてもらいました。

すべてのことが新しい経験で2週間という短い間でしたが、1日1日がとても濃い思い出となりました。私自身海外に行ったのも初めてだったので、外国の人とコミュニケーションをとることで感覚や文化の違いを肌で感じることができました。



## 斉藤 好美

総合政策学部 総合政策学科 3年

私は、1年生のときに小関先生の上級英語を受講してフィリピン研修についての話を聞いたことがきっかけで、私もこの研修に参加してみたいと思うようになりました。この研修が私にとって初めての海外であったため、フィリピンで見た景色すべてが新鮮でした。日本との生活や文化の違いに驚くことも多くあり、最初は不安もありました。ですが、バゴの人たちの温かさに触れ、研修が終わりに近づくにつれて「もっとフィリピンで過ごしたいな」と思うほど楽しく、充実した時間を過ごすことができました。

私は緊張しやすいところがあったり、いつも何か行動する前には考えすぎてしまったりするところがあります。しかし、バゴシティ大学のバディたちはみんな明るく、優しく「上手くできなくても大丈夫なんだ」と感じる事ができ、大勢の人の前でも、驚くぐらい堂々と発表することができました。授業では手を挙げて発表する機会も多くありましたが、失敗を恐れず、積極的に手を挙げられるようになりました。この2週間での経験を通し、「もっと自分を信じてみよう」と思えるようになりました。

2週間という短い期間でしたが、たくさんのことを経験し、かけがえのない時間を過ごすことができました。この研修に参加できて幸せだなとしみじみ思います。もし、海外に行ってみたい、この研修に参加してみたい、自分を変えたいと少しでも思っている方は、ぜひ参加を検討してみてください！



# Final Comments



## 佐々木 拳信

総合政策学部 総合政策学科 3年

私にとって今回の研修は、初めての海外でありとても不安で、行く数日前からずっと緊張していました。しかし、実際に現地に行くと OISCA の方たちやバディの方たちの温かさに触れて本当に来てよかったなって思える体験をしました。何もかもが日本とは違う環境であり、とても刺激的で楽しい 2 週間でした。

英語の授業では、バディたちのおかげで積極的に手を挙げることができました。また、発表の時はそれぞれの班が個性を出し楽しく発表をすることができました。こんなに授業が楽しいと思えたのは初めてでした。それも、バディたちが笑顔で接してくれたからです。私は英語の授業を通し、もっと英語を話せるようになりたいと思いました。私は普段発表するタイプではなかったのですが、バディたちのおかげで積極的に発表することができました。授業をきっかけに英語を話す楽しさに気づき、積極的に行動できるようになりました。私の英語力だとまだまだ通じないことがたくさんあるので、次フィリピンに行った時には話せるように英語学習を取り組みたいと思いました。

OISCA では研修生と一緒にバスケットをしたり、Jan さんや優太郎と一緒に散歩したりなど最高の思い出ができました。本当に研修に関わった方たちには感謝しています。また、共に過ごした 10 人と一緒に研修に参加できたことは生涯忘れません。特に颯太、大翔、太環とはずっと一緒にいてたくさんふざけてたくさん笑いました。この 4 人のおかげで、より研修生活が楽しかったんだと思います。今までにないほどの絆ができました。本当にありがとう。



## 白岩 小夏

総合政策学部 総合政策学科 3年

私は 2 月 18 日から 3 月 2 日まで文化交流とバゴ市にあるバゴシティ大学で英語を学ぶことができました。私にとって今回の研修は初めての海外だったのでとてもドキドキしていました。当時は英語も得意ではないし、安全に生活できるか不安でしたが、実際に行ってみるとそんなことはなく、とても充実した生活を送ることができました。

授業では、バディが 1 人 1 人ついてくれてサポートしてくれました。授業は全て英語でしたが、わからない単語や説明があってもバディがゆっくり教えてくれるのでとても分かりやすく、毎日が楽しみになるような授業でした。文化交流では、組紐の組み方を現地の職人さんに教えてきました。最初は苦戦していましたが 1 時間をしないうちに習得し、実際に商品が完成するまで伝えることができました。フィリピンでも商品化に繋がるようこれからもサポートしていきたいと思います。フィリピン料理では、日本の味と似ている料理もあったので食べやすい印象でした。主にチキンなどのお肉料理を食べる機会が多かったのでとても美味しかったです。

このフィリピン研修は本当にあっという間の 2 週間でした。毎日驚きがあり充実した研修でした。英語の勉強で語学力が向上するだけでなく、フィリピンの文化や習慣を知ることができました。またフィリピンの良さを知るだけでなく、日本の良さを改めて知る機会になったと思います。この研修で学んだことを活かしてこの先も頑張りたいです。

### Special Thanks

OISCA 茨城 事務局長 小野瀬武康 氏 / OISCA バゴ・トレーニングセンター 所長 渡辺重美 氏



## 鈴木 大翔

総合政策学部 総合政策学科 3年

私はこのフィリピン研修で一生忘れることの無い経験をすることが出来ました。

私はフィリピン研修に行く前までは初めての海外ということもあり、「英語を話せるだろうか」「日本と違った環境に慣れるだろうか」といったような不安の気持ちでいっぱいでした。しかし、実際にフィリピンに行ってみると現地の方の優しい対応や明るさに触れることで不安が一気に解消されました。フィリピンの人々はいつも笑顔で、目が合うと初めて会う人であっても手を振ってくれるような温かい人達でした。日本とはいい意味で違うその環境がとても心地よかったです。また、バゴシティ大学の生徒もとても明るくて授業に対して不安があってもその明るさにつられて私自身も明るくなり、眠気なんて忘れて楽しく授業を受けることが出来ました！そんな明るさに触れるうちに内気な私も失敗を恐れなくなりどんどん自分を表現することができるようになりました。

フィリピン研修はたった2週間という期間にも関わらず、一日一日がとても濃いものであり、とても充実した日々を過ごすことができ、バディたちや OISCA の方々とお別れするのはとても寂しかったです。

今回の研修では言葉で表すことができないほど貴重で素晴らしい有意義な体験をすることが出来ました。この研修に関わったバディ達や先生方、小野瀬さんや OISCA の方々、全ての方に感謝いたします。フィリピン研修に参加しようか迷っている人は自分を変えるチャンスだと思ってぜひ参加してほしいです！



## 中村 有希

総合政策学部 総合政策学科 3年

今回の研修が初めての海外でした。初めての海外という事もあり、フィリピンに行くまでは楽しみよりも不安が大きかったです。しかし、フィリピンに着いてからは街の風景を見てとてもワクワクしました。街並みを見ながら「楽しみながら色々なものを得る2週間にしよう！」と思いました。

OISCA の方々やバゴ大学の学生と交流し感じたことが、みんな優しく親切でパワフルだということです。フィリピンに来る前は不安でいっぱいでしたが、不安になる必要がなかったと感じるくらい関わる人全員がとても温かったです。梅染め・組紐プロジェクトでは、OISCA の職人さんに「組紐プレスレット」の作り方をレクチャーしました。その際も、私のつたない英語を真剣に聞いてくださる職人さんを見て、準備を頑張った良かったと感じました。また、バディにはたくさん助けてもらいました。特に最終プレゼンの原稿の発音練習です。私が発音できるようになるまで練習してくれました。たくさんの人に助けられ、温かさを感じる2週間でした。

「今回の研修で出会った方々に会うためにフィリピンに行きたい！」と感じるほど、出会った人たちは素敵な方々でした。私の中でフィリピン研修が素敵な思い出になったので、もう一度フィリピンやバゴ市に行きたいと思います。これから色々な国に行きたいと感じたので、苦手な英語も頑張って勉強します。海外に興味を持っている人や英語に苦手意識のある人にぜひ参加してもらいたいです！

# Final Comments



## 小関 一也

総合政策学部総合政策学科 准教授



私自身 5 回目のネグロス訪問になりましたが、いつも思うことは一緒です。ネグロスの人たちの素朴な優しさ温かさ、誠実さに癒やされ、生き返るような感覚をまた味わってきました。今年参加した常磐大生たちもみんなそうだったのだろうと確信しています。現地のバゴシティ大学の学生たちは、日本の学生に比べて、決して恵まれた環境にいるとはいえません。しかし、常に感謝する気持ちを忘れずに、周りの人を思いやり、そばにいる人の幸せを優先して行動します。そして、それぞれの将来の目標に向かって黙々と努力し続けるのです。そんな彼らの包み込むような優しさで静かな力強さに、常磐大生たちは、魅了され感化されるのだと思います。ネグロスを体感した君たちには、この素晴らしい経験を、これからの人生の糧にしてほしい、つかの間の夢のような体験で終わらせないでほしいと、心から願っています。この最高の経験を、ぜひ君たちの未来でも輝かせてください。

最後になりましたが、OISCA 茨城の小野瀬さん、バゴ・トレーニングセンターの渡辺所長、コーディネーターの Jan さん、この研修をサポートしてくださったすべての方に、心から感謝申し上げます。



## Kevin McManus

人間科学部コミュニケーション学科 准教授



*While I was not able to join the students on their study trip to the Philippines this year, I got to know the group through our pre- and post-departure classes. I was impressed by how well all of the students got along with each other even from the beginning, and by the effort that each student put into his/her project preparation. I was also impressed by how much the students had grown following the trip. They had not only gained confidence in their English ability, but also in themselves for successfully participating in the program. I'm sure they will remember the amazing experience for the rest of their lives.*

*Thank you to our wonderful hosts at OISCA and at Bago City College for giving our students this wonderful opportunity!*

